



職員のやりがいを育て、より良い支援を提供

医療法人やわらぎ 介護老人保健施設 ゆう

三度にわたる全国介護老人保健施設大会の演題発表での奨励賞受賞。「次は埼玉大会での賞獲得を目指しています」と、「ゆう」の三浦航平副施設長。こうした研究発表は、職員のモチベーションやケア技術の向上につながるとして、同施設では積極的に推進しています。さらに三浦副施設長は「職員が“やりがい”を持って働けるようマネジメントするのは管理職の役目」と語り、内外での研修会にも参加を促しています。また、各々が専門職の仕事に特化できるよう、介護アシスタントを導入するほか、町協力のもとシルバー人材を通所ドラ



前列中央が鈴木重統施設長、後列左端が三浦副施設長、右端が松本部長

イバーとして雇用するといった業務分担の仕組みも確立しています。

5月から超強化型として運営をスタート。多職種で在宅復帰を支援する自律支援部と、行政と連携するなど地域ニーズに即した通所系サービスを提供する地域支援部が中心に取り組んでいます。通所リハビリテーションは1日55名程度が利用し、登録人数は200名超という規模で町内外において欠かせないサービスとして評判です。

地域支援部松本太一部長は、「ケアマネジャーからの連絡が来たら、相談員や介護職、セラピストでご自宅を訪問してアセスメントし、体験利用を行います。ケアマネジャーはそれらの評価項目をふまえることで、より綿密なプランを作成できますし、私たちも事前に利用者さんのことを理解できて的確なりハビリを提供できます。利用者さんも安心ですね」と選ばれる秘訣を話します。

そのほか、食支援にも力を入れており、4名在籍する管理栄養士のうち、一人は自律支援部の副部長も兼任。嚥下食から常食へとステップアップを図り、在宅復帰してからもしっかり口から食べられるようサポートしています。今後は在宅支援も注力していきたいと三浦副施設長。「いつでも職員を大事に考え、挑戦したいですね」



全国介護老人保健施設大会大阪大会で発表する職員

- 住所/空知郡南幌町栄町1丁目1-20
- TEL/011-378-0091
- 入所定員/70名、通所定員/60名